



今月新しく入りました。

●一般の本

村上海賊の娘 (作=和田 竜)
陰陽師 蒼猴の巻 (作=夢枕 獏)
穴 (作=小山田浩子)
想像ラジオ (作=いとうせいこう)
さようなら、オレンジ (作=岩城けい)
シルバー川柳3 (作=全国有料老人ホーム協会)

●子どもの本

オバケのアッチとドラキュラスープ (作=角野 栄子)
ナツカのおばけ事件簿呪いのまぼろし美容院 (作=斉藤 洋)
あさがお (作=荒井真紀)
ひらがな だいぼうけん (作=宮下すずか)
おさるのジョージ (作=マーガレット・レイ)

中でもこの本が **オススメ** です。

ノボさん 小説正岡子規と夏目漱石

作=伊集院 静



明治20年、ノボさんこと正岡子規は20歳を迎えた。子規は常に人々に囲まれていた。友人、師、家族から愛され、子規もまた彼らを慕った。そしてこの年、東京大学予備門で運命的な出会いを果たす。金之助こと夏目漱石である。二人は人生を語り、夢を語り、恋を語った。二人の友情を軸に、夢の中を走り続けた人、ノボさんの人生を描く。

ピムとポム しんぶんのにのりたい

作=ミース・パウハウス



「事件をさがしにいくな。ヒーローになるのさ」。ねこでも活躍すれば、新聞にのると知ったピム。事件をさがして解決したら、「ピムはヒーロー」って新聞で紹介されるかも!!ピムとポムは町へはりきって飛び出します。事件はどこだろう?オランダで愛されつづける2匹のこねこのお話。

あたたかいふれあいのひとときを

ブックスタート



ブックスタート。それは、絵本を通して、家庭内で赤ちゃんに「温かい、ふれあいの時間」を持つきっかけを作るための取り組み。どこの家庭でもすぐに絵本を開いて楽しんでもらいたい。そんな願いを込めて、4か月健診時にすべての赤ちゃんに同じ絵本が入ったブックスタートパックを差し上げています。

●4月23日は「子ども読書の日」

中央公民館図書室では、4月23日の「子ども読書の日」にちなんで、次のとおり「子どものオススメ絵本」を展示します。普段は手にすることの少ない子どもたちの本。ぜひこの機会に手にとってみてはいかがでしょうか。(展示期間中は、展示本の貸し出しはできません)

●とき 4月21日(月)から5月9日(金)まで

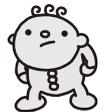
●ところ 中央公民館ロビー

●なぜ絵本なの?



赤ちゃんには「自分は大切な存在である、愛されている存在である」と思える体験が大切だと言われています。絵本には、赤ちゃんを抱いて語りかけ、顔を見て、一緒に楽しいひとときを過ごすことが出来る不思議な力があります。

●赤ちゃんに絵本は早いのでは?



赤ちゃんにも好きな絵や音、色があるように、絵を見つめたり指さしたり、読んでくれる人をじっと見つめて声に耳を傾けたりと、赤ちゃんの絵本の楽しみ方があります。同じ絵本、同じ絵なのに、その反応は一人ひとりさまざま。そんな赤ちゃんの姿を見ている大人も楽しくなります。



Share Books

大好きな人との時間を絵本で分かち合う。そんな時間を楽しんでみてはどうですか。

Dr. 三好

くらで病院スタッフ
からの健康
アドバイスです

調子はいかが？

くらで病院 ☎42局1231番



健康診断で「胆石がある」といわれたのですがどうしたらよいですか？
(42歳・男性)

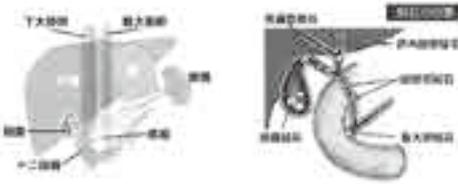
胆石とは

胆石とは胆のうや胆管のなかにできる石のことで、痛みや様々な症状を起こすと「胆石症」という病気になるります。

胆のうは肝臓でできた胆汁という消化液を一時的に溜め込んで濃縮し、胆管を通して腸に流して食べ物の消化を助ける働きをしています。

胆石にはコレステロール結石やビリルビン結石など様々な種類があり、原因も様々です。本人には全く症状がないこと

も珍しくはありません。症状がなければそのまま経過を見ていくのが現在の考え方ですが、いつ症状が現れるかわかりませんし、石の刺激で胆のうの壁が厚くなったり、ガンが発生する可能性もあるので、超音波検査などで定期的に検査する必要があります。



△胆石のできる位置と名称

症状はどんなもの？

主な症状は上腹部痛です。石が胆のうの出口や胆のう管に引っかかって胆のうの圧が上昇するためにおこると考えられています。完全に石が詰まってしまつて痛みと発熱を伴うと急性胆のう炎という状態となり、胆のうや胆管にたまった胆汁に感染を起こし、急性閉塞性化膿性胆管炎を起

こすこともあります。重篤な状態になると死亡率は40〜70パーセントにも達するため、すばやい対応が必要となります。その他、何となくお腹（といつても上腹部、本人は「胃が悪い」という感じ方をしてる場合があります）の調子が悪い、特に食後、主に脂っこい物を食べた後などに上腹部痛や吐き気、食欲不振があるので調べてみると胆石が発見されることも少なくありません。

診断と治療

胆石が疑われる場合は腹部超音波検査が行われます。超音波検査は痛みを伴わず、患者様の負担は少ないです。その他、血液検査、CT検査など

が行われることもあります。治療や薬で石を溶かす方法もありますが、石の種類によって溶けないものもありますし、大きな石や胆のうの働きが悪い場合は薬が効きませんので、手術で胆のうを摘出する方法が一般的です。以前はお腹を7〜10センチ程切つて胆のうを取り出していましたが、現在は腹腔鏡というカメラをお腹の中に挿入し手術を行う腹腔鏡下胆のう摘出術が基本で、小さな傷での手術が可能です。さらに、施設によっては、おへその傷だけで手術を行い1泊2日程度での治療が可能となり傷もほとんど残りません。



△手術後1週間のおなかの写真

胆石とは胆のうや胆管のなかにできる石のことで、痛みや様々な症状を起こすと「胆石症」という病気になります。石の刺激で胆のうの壁が厚くなつたり、ガンが発生する可能性もあるので、超音波検査などで定期的に検査する必要があります。



【アドバイザー】

三好 修さん・みよおさむ・平成14年 旭川医科大学卒業。飯塚病院、和臼病院等を経て、平成26年1月よりくらで病院外科勤務。外科専門医、消化器外科専門医、がん治療認定医、救急科専門医、マンモグラフィ読影認定医。